

# 富田林寺内町(じないまち)保存と街なみ環境整備事業による町並み整備

富田林寺内町は、永禄年間(1558~1569)の始め頃に京都興正寺門跡十六世証秀上人によって創建された宗教自治都市です。近鉄長野線富田林駅の南にあり、東西400m、南北350mの広がりを持ち、面積にして約13.3haあります。

17世紀以後、周辺地域の農産物の集散と商業活動による在郷町として発展し、寛文8年(1688)の記録では、樽や布など酒造や木綿に関する商いが盛んで51種類、149の店舗が軒を並べていました。

現在も創建当時の六筋七町の町割りが残され、特に重要文化財旧杉山家住宅、大阪府指定有形文化財仲村家住宅など、往時の繁栄を偲ぶ町屋が現存し、平成9年10月に大阪府下で唯一の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

地元では歴史的町並み保存に取り組むため、平成6年に「富田林寺内町をまもり・そだてる会」を設立しました。設立以降、今では例年行事となった町並みをライトアップする寺内町燈路などのイベントの開催、ボランティアガイドによる訪問者への案内、「じないまち交流館」の指定管理者(H18~)として施設の管理運営、先進事例の視察による保存の取り組みの研究、寺内町の清掃活動などさまざまな活動を行い、官民協働して歴史的町並みの保存に取り組んできました。

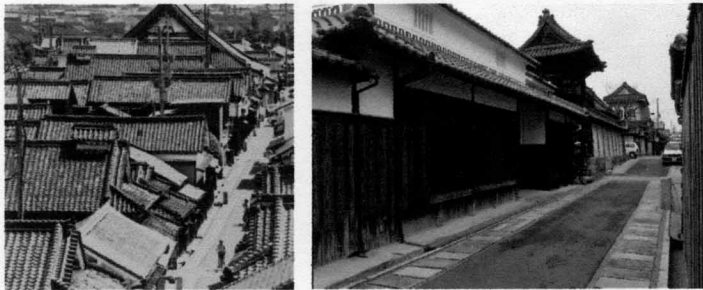
一方、富田林市では、昭和58年に旧杉山家住宅を買い取り、解体修理を行ったことをはじめ、平成3年には富田林市伝統的建造物群保存地区保存条例を制定し、平成9年には重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けるため、地区内の都市計画道路の一部を廃止する都市計画の変更を行いました。その後文化庁の補助を受け、伝統的建造物等の修景助成を行いつつ、平成11年以降は街なみ環境整備事業により、寺内町の情報提供や来訪者の休憩場所である「じないまち交流館」の建設、道路美化や街路灯設置など道路環境施設の整備や防災機能をもった小広場の設置、町家を改修した来客者用施設や住宅等の外観の修景助成などを行いました。



## 富田林寺内町の町並み

### 城之門(じょうのもん)筋

城之門筋の名前は、桃山城城門のひとつを移築した興正寺表門が由来。昭和61年(1986)、建設省が制定した『日本の道100選』に選ばれ、路面の一部が石畳に舗装されています。また、電柱の移設など歴史ある町並み保存が進められています。



### 重要文化財 旧杉山家住宅

富田林寺内町でもっとも古い町家建築を持つ旧杉山家。寺内町の創立に関わった八人衆の一人杉山家の歴史は、残されている文書によると江戸時代初期の寛永21年(1644)に遡ることができます。

江戸中期以降、造り酒屋として財をなし、町割の一角を占める広大な屋敷地の中に主屋、酒蔵、土蔵など10数棟が軒を接して建てられており、その栄華を誇りました。最盛期には70人以上が働いていたそうです。

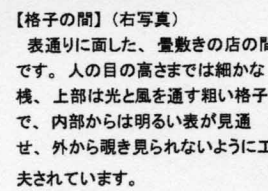


### 旧杉山家住宅 <内部>

屋敷内部の造り一つ一つにも贅が凝らされ、日本建築文化の粋を集めた建築物と言ってもいいでしょう。



【大床の間】(左写真)  
大床の間は、2畳の座敷。能舞台をイメージし、狩野派絵師による華麗な老松の障壁画があります。また床の背後には、茶室があり豪商の遊び心を伝えています。



【格子の間】(右写真)  
表通りに面した、畳敷きの店の間です。人の目の高さまでは細かな棧、上部は光と風を通す粗い格子で、内部からは明るい表が見通せ、外から覗き見られないように工夫されています。



### 『あてまげ』の辻

街路を直行させず、半間ほどずらし、わざと見通しを妨げています。外部からの侵入者をかく乱し、町を守る工夫がこんなところにも活かされています。



### 興正寺別院

興正寺は正式には「興隆正法寺」といいます。表門は桃山城の門を移築したもので、本堂は寛永15年(1638)に、また書院と庫裡は文化7年(1810)に再建されたものです。本堂の外陣には、狩野寿石秀信の筆による襖絵が残されています。創建時の建物はすべて失われていますが、真宗道場形式の本堂としては大阪府下最古の遺構で、旧寺内町の中核としての格調と景観を見せる貴重な建物です。



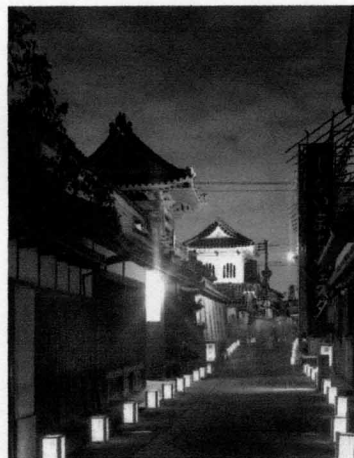
## 富田林寺内町をまもり・そだてる会の取り組み

### 寺内町燈路

富田林寺内町の夏の恒例行事となった『寺内町燈路』。

江戸時代の町家が軒を連ねる富田林寺内町地区を中心に、会員及び一般参加者を含めて約800個の手作り行灯を軒先に並べることで古い町並みを幻想的にライトアップします。

【毎年8月の第4日曜日に開催。】



### 寺内町清掃

富田林寺内町地区内の清掃活動風景。



### 富田林寺内町ボランティアガイドの会

地元の有志で組織するボランティアガイドが富田林寺内町を訪れた方々に町並みの案内や歴史の講和を行っています。  
※ガイドの申し込みについては事前に予約が必要です。



### 切り絵カレンダー

富田林寺内町の代表的な町並みや建物を図柄にした切り絵カレンダーを販売しています。

また、年3回『瓦版(会報誌)』の発行も行っています。



## 富田林市の取り組み

### じないまち交流館

国土交通省の街なみ環境整備事業を活用し、富田林寺内町の情報提供や来訪者の休憩場所として、平成18年度に開館。

富田林寺内町をまもり・そだてる会が指定管理者として施設の管理運営を行っている。



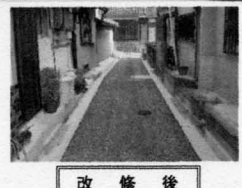
### 道路美化

歴史的町並みにふさわしい調和のとれた路面舗装を行い、併せて街路灯の整備も行っている。

道路表層：石灰アスファルト舗装  
交差点：半たわみ性舗装  
側溝：自然石工型側溝(オープン側溝)



改修前



改修後

### 住宅等の修景助成

文化庁及び国土交通省の補助金事業を活用し、市で定めている修理・修景基準に基づいて個人住宅の修理・修景を行っている。

文化庁実績：185件(S62~H19)  
国土交通省実績：23件(H12~H19)



改修前



改修後

## 富田林寺内町をまもり・そだてる会

設立：平成6年7月 発足  
会員数：263世帯(正会員：257世帯・準会員：6世帯) [H20.10現在]  
所在地：大阪府富田林市富田林町9番29号(じないまち交流館内)  
連絡先：0721-26-0110 (TEL・FAX 共通)